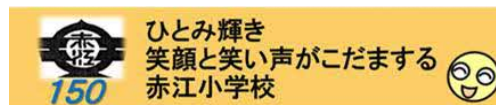


## 開校 150 年記念コラム（第 9 回）

今回は、夏に発行された「健康あかえ 7 月号（No67）」に、小学校時代の思い出にふれた文章を寄稿された金藤健太郎さん（昭和 62 年度卒）に赤江小の思い出をお聞きしました。



### 「赤江小学校の思い出」金藤健太郎さん（昭和 62 年度卒）

赤江小学校の一番の思い出というと、なんといっても児童交流です。大阪に行き、初めて会う白鳥小の友だちの家庭にいきなり宿泊するという、今ではとても勇気がある行事。おおらかな時代だったのかもしれない。

交流相手の白鳥小の友だちは、当時安来にはあまりなかった団地に住んでいて、とても新鮮でした。初めのうちは緊張していましたが、気がつけば仲良く遊んでいたことを覚えています。

私たちが小学生だった頃は、前の体育館を使いながら今の体育館の工事が行われていました。前の体育館のトイレは古く汲み取り式でちょっと怖かったです。前の体育館には長い渡り廊下でつながっていました。雪が積もったときは、上靴がぬれないように気をつけて歩かなければなりません。休憩時間はプレイルームで遊んでいました。キャプテン翼がはやっていた頃で「スライディングごっこ」という遊びをしていてよく先生に注意されました。勉強で覚えているのは田植えや稲刈りです。かまで刈り取って、千歯こきで脱穀したことは、今思うとはなかなかできない貴重な体験だったと思います。

修学旅行でナタリーに行って遊んだり、卒業記念製作のパネル絵を作ったりしたことなど、思い出します。懐かしい小学校の思い出です。